



ひとりじゃないよ!

横須賀市内近郊から 80 以上の市民活動団体が参加します

のたろんフェア 2023

2月11日(土)
2月12日(日)

横須賀市立

市民活動サポートセンター

京急汐入駅から徒歩1分

フリマもやってるよ

みんなに会えるの
楽しみです!

待ってまーす



のたろんフェア 2023 実行委員会のメンバー

のたろん新春[★]号

((すかっこの市民活動情報))

のたろんフェア 2023で

会って、聞いたり、相談できます！

横須賀市内あるいは近郊で活動する市民活動団体が参加する『のたろんフェア』では、実際に団体の方に来て聞いて聞いたり相談したりできます。

のたろんフェア 2023 に出展参加する市民活動団体に編集ボランティアが直接聞いてみたいことを一覧にしました。

環境保全の活動ってどのように進めればよいの？

不安で心配、腎臓病に関して相談したい。

割りばし鉄砲など昔のおもちやを再現したい。

こども食堂のこと教えて！

遺言書の書き方が知りたい。

助産師さんのことが知りたい。

他の作業所のこと、もっと知りたい。

万が一のときの救護の方法を知っておきたい。

「パソコン」の腕を磨きたい。私の知識を役立てたい。

子ども会で映画会をやってみたい。ノウハウを教えてください！

お金のことも気になる。今のうちに知っておきたい、認知症の家族の支え方。

地域コミュニティカフェの運営について意見交換したい。

やっぱりちゃんと考えたい原子力発電所のこと。

栄養士の資格はどうやって取るの？どんな仕事があるの？

貧困の方への支援になにか協力したい。どんなことで協力できるかしら？

健康のために歩かなきゃと思っているけど一人じゃなかなか続けられなくて・・・

今からでもちゃんと知りたい、横須賀の基地のこと。

障がい児の放課後のことを相談したい。パラスポーツ支援をしたい。

フリースクールのこと不登校児童の支援、現場の人とお話したい。

文化的な側面から横須賀のまだ知らないことを探したい。

踊ってみたい ... 車イスダンス

子育て奮闘中！ 相談乗ってほしい〜。情報交換したい。

のたろんも聞いてみたいーい！

2月11日(土)
2月12日(日)
横須賀市立
市民活動サポートセンター



のたろんフェア 2023
当日のスケジュールや
参加団体の情報は
のたろん web で



チェック！

あなたの興味や悩みがこのリストにあったら、その一歩をのたろんフェアで踏み出せます！「聞いてみたいこと」がありましたら、サポセンへご連絡ください。その団体の出展する日をお知らせいたします。のたろんフェアに限らず、サポセンではいつでもあなたをご希望の市民活動団体とおつなぎします。どうぞご活用ください。〈横須賀市立市民活動サポートセンター 電話番号 046-828-3130〉



～市民活動を支える人たち～

手話ダンスグループ「ゆらぎ」 代表 長南 友子 さん

手話を交えた歯切れのよい語り口が印象的、手話ダンスゆらぎの長南さんにお話を伺った。

高度経済成長にさしかかるところ辻堂に生まれる。学齢に達する前に、一家は鶴ヶ峰に居を構えた。父は、平日は会社員、土日と夜には書家として、子どもたちや町内会などに書道を教えていた。母は手芸、鎌倉彫、華道と多才だった。三人きょうだいの長女だった長南さん、母のすすめで、絵画、珠算、学習塾と習い事は多かった。母が外出が多かった分、父がまめで、長南さんも小学生の頃から、お米をといだり家事をしていた。

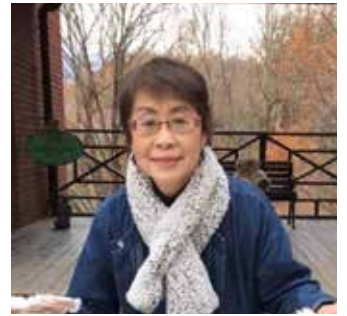
コーラスが好きで、小学校から高校まで合唱部。高校の頃は生徒会役員も務めた。大学に進学して、輸入を扱う商社に事務職として就職、インド方面を担当した。就職して1年、友達の紹介で知り合い結婚、寿退社した。2児に恵まれ育児に励んでいたが、次男が小学校に入ったことを機に、横浜そごうの開店準備室でパート勤めを始めた。開店後は、外商部でサロンの部門を担当。「自分は、事務しかできないと思っていたけど、カウンターの仕事もこなせるのだと思った」という。VIPのお客さんともお友達にしてもらったり、上司の仕事ぶりを見て、3年間とても勉強になった。忙しかったけれど、楽しかった。退職後は、主婦生活の日々に戻った。

30代も半ばになった頃、広報よこすかに載った手話通訳付きの講演会の記事が目にとまった。会場に行くと、最前列にろう者の方が並んでいた。講演が始まって、手話通訳者が表情も豊かに通訳すると、ろう者の方は、通訳に見入ったり笑ったり・・・「わーすごい、こんなに通じるものなんだ」と思った。

1～2ヶ月して、広報よこすかに、手話講座の募集があった。すぐにはがきを書いて初級の講座に応募した。講師は、かの講演会の手話通訳者だった。それから、中級、上級と講座を進めて、同時に手話サークルにも入会。手話の研鑽を積んだ。

その後、手話通訳の資格を目指して藤沢にある神奈川

県聴覚障害者福祉センターに通い、試験に合格し研修を受けていた。その矢先、実家の母が倒れ、入退院を繰り返す生活になる。手話通訳の技術に自信をなくしかけていたこともあり、手話通訳の道を断念。住まいと実家を往復する日々にな



った。母が倒れてから3年が過ぎた頃、手話サークルの昔の仲間から「今は、手話ダンスをしている。来てみない？」と誘われた。金沢文庫の手話ダンス教室に行ってみると「楽しくてしかたがない。手話通訳の勉強をしているときは苦しかったのに」と感じた。そして、先生について、高校に教えに行くときの実演を担当したり、手話ダンスサークルの会員と一緒に慰問にも行った。

2005年、横須賀でも手話ダンスをやってみたいと思っていた長南さん、仲間と3人で手話ダンスグループ「ゆらぎ」を立ち上げた。手話サークルの仲間にも声をかけ、たちまち10人ほどが集まり、イベントへの参加や老人福祉施設を中心に慰問活動を行っている。

『ゆらぎ』で初めて舞台に立ったとき、みんなに見られるってこんなに気持ちがいいの？と思った。終わったとき、耳の聞こえない方が、いきなり立って来てくれて、手をたたきながら、よかったよかったと言われた。下手じゃ見に来てくれないと、練習に、手話ダンスの創作に励んでいる。「7年前大病したが、会員に支えられて続けている。手話ダンスはライフワーク。手話ダンスがなかったら病気にも耐えられなかったかも知れない。母と父が亡くなってから、慰問に父と母を思い出し、お年寄りからパワーをもらっている」

コロナ禍になってから、新作の手話ダンスを作り、会員で練習はできても人に見てもらえないという長南さん。華やかな彼女にふさわしい、春が来てほしいと願うインタビューだった。
(はこぎき)

団体紹介

手話ダンスグループ「ゆらぎ」

聴覚障がい者の大切な言葉である「手話」を、「手話ダンス」を通して多くの方々に興味を持ってもらうことと、福祉活動に関わることで、みんなといっしょに交流していくことを目標に活動しています。福祉施設の慰問活動、地域へのイベントなど舞台披露、また学校や福祉関係の場への手話ダンスの指導をおこなっています。市政100年記念に製作した「のたろんサンバ」に手話ダンスの振付けをしていただきました。

📺 「のたろん 手話ダンス」で検索

YouTube「のたろんチャンネル」で、手話ダンス「ゆらぎ」さんのダンスが見られます。

のたろんも
いっしょに
踊っているよ!





沼ちゃん！サポセンってパソコン使わせてもらえたよね？のたろんも使っていいー？



よし！受付票も書いたしパソコンで『笑点』見るぞー！



パソコンコーナーにあるパソコンは、誰でも使えるわよ。使いたいときは受付で利用票を書いてね。



あ、のたろん。サポセンのパソコンは市民活動支援の一環で利用できるものだから、個人的な目的での使用は NG ってことになっているの。だから、娯楽のために使うのはダメなのよ。使える時間も 30 分過ぎたら次の人に交代っていう決まりだしね。



ねえねえ、サポセンのパソコン使う時に気を付けることってある？ 自分専用のパソコンじゃないから、壊したりしないかなってちょっと怖いんだけど。



えーっ！だってこの前、サポセン来たら『笑点』見てる人いたよー！？



うーん、普通に使う分には壊れることはまずないから、そんなに心配しなくても大丈夫よ。



あー……。わかった。あれはのたろんフェアの実行委員が、交流会のネタを考えるために見てたのよ。だから市民活動になるってことかしら。



気を付けてほしいのは、メールや SNS を使ったときに、ログインしたら必ずログアウトすることかな。ログインしたまま次の人に使われちゃうと大変だからね。



ずるーい。のたろんも、かわいいマスコットとして市民活動をさらに盛り上げるために、かわいいウサギの動画をみたり調べたりするー。それは、いい？



確かに次にパソコン使った人に、のたろんの秘密の丸秘のシークレットメールを見られちゃったりしたら大変だ！絶対気を付けるー！



それは大事な市民活動だから OK かな (笑)



なんだかすごそうな秘密のメールがあるのね……

あまりうるさくは言わないけど、みんなが気持ちよく利用できるようにしましょうってことね。サポセンはみんなの場所で、パソコンもみんなのものだからね。

●ペットの信託について詳しく知りたい方は、どうぞご連絡ください。

「鎌倉の命運、お前に託した……」
よ……よしときいいい……泣
…取り乱しました。スミマセン、甘党です。今年の大河ドラマにどはまりして最終回ポロポロに泣かされました。不覚です。
さて、この「託す」ということばですが、辞書で調べると「自分が為すべきことを他の人に頼む。まかせろ。」という意味で紹介されています。大河ドラマの中では親から子へと鎌倉幕府の命運がまかされていたわけですね。ドラマとはいえ…責任重大だあ…汗
さて、大河ドラマの余韻に浸りながらふと考えました。甘党だったら何を託すことになるのかなあ…と。ぱっと思いつかぶのはやっぱりうちの愛錦鯉ですよね…なにしろ 226 年 (錦鯉の長寿記録については第 15 話を見てね👍) とか生きるかもしれないし。そんなわけで、ペットにまつわる手続きを専門にしている行政書士さんに相談してみましたところ、ペットのための信託契約があるそうです。大まかにいうと病気などの理由でペットを飼えなくなってしまう場合に、ペットのお世話を誰かにお願いできる仕組みだそうです。
こちらの信託契約を利用するときには、まずはペットの身の回りの手入れにかかる費用やごはん代、お世話をしてくれる人への報酬などなど、1 年間にかかる経費を整理して、ペットの平均寿命までの残り年数から経費の総額を計算するところからやってみてください、とアドバイスをいただきました。準備をしておくべき費用ということですね…
大切なペットの命ですから早めに準備を始めて、本当に信じられる人に託したいものです。
ちなみにこちらの行政書士さん曰く、錦鯉を対象に 226 年間で構成した「ペットのための信託契約」は聞いたことがないそうです。残念。
(小串滋彦)

「信」じて「託」す

甘党錦鯉

第 16 回



***** サポセン topics トピックス

取材、はじまります！

NPO 法人活動体験レポート

NPO の紹介をレポーターの方々と私達が実際に取材して作る活動体験レポート集

「横須賀市にはどんな NPO 法人があるの?」「活動を手伝ってみたい」「こんな活動に寄付したい」。そんな皆さんに手に取ってほしい冊子『NPO 法人活動体験レポート集』は 4 年ぶりの発行です。今年もさまざまな横須賀市内の NPO 法人におじゃまします！いっしょに取材してください。レポーターを募集しています！

サポセンは、福祉、まちづくり、文化、環境、国際、災害救援など、あらゆる分野の市民活動をサポートする施設。通常 9 時から 22 時、土日も開館。印刷や打合せなどができます。

サポートセンターのホームページ「のたろん Web」は

「のたろん」で検索♪

のたろん

検索



情報誌「のたろん」新春号 (通巻 93 号) 2023 年 1 月 1 日

発行 横須賀市立市民活動サポートセンター

編集 指定管理者 特定非営利活動法人 YMC A コミュニティサポート

横須賀市本町 3-27 (京浜急行汐入駅徒歩 1 分)

TEL 046-828-3130

FAX 046-828-3132

市民活動サポートセンターは、市民活動、ボランティア活動の打合せや作業、情報収集を行なう施設です。ご利用の際は受付にて利用票のご記入をお願いします。

